

(第134期) 2016年11月期

中間事業報告書

2015年12月1日から2016年5月31日まで



NACHI

株式会社 不二越

証券コード 6474

株主の皆様へ

株主の皆様には平素から格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2016年中間期(2015年12月1日から2016年5月31日まで)の事業の概況についてご報告いたします。

経営環境

当中間期における当社グループをとり巻く環境は、米国を中心とした先進国経済の回復がみられましたが、中国をはじめとした新興国経済の成長鈍化や、急激で大幅な為替変動の影響を受け、総じて厳しい状況にありました。

事業の経過ならびに成果

このような状況のもと、当社グループは、工具、工作機械、ロボット、ベアリング、油圧機器、そして特殊鋼事業をあわせ持つ総合機械メーカーとしての特長を活かし、海外の現地ユーザーを中心とした新規開拓や、新商品の投入、既存商品のラインナップの拡充にとり組みましたが、当期の連結売上高は、1,062億円(前年同期比1.1%減)となりました。このうち、国内向けの売上高は562億円(同3.4%減)、海外

売上高は499億円(同1.7%増)であります。

利益面につきましては、将来の事業拡大に向けた営業・生産体制の拡充など先行投資費用の増や、円高ドル安の影響等により、営業利益は64億円(前年同期比33.4%減)、経常利益は43億円(同51.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は27億円(同52.5%減)となりました。

なお、当期の中間配当につきましては、その実施を見送らせていただきたく存じます。

今後のとり組み

今後の見通しにつきましては、足もとでは円高の進行や新興国経済の減速など不透明な状況が継続するものの、中長期的には、環境対応車の普及や、ものづくりの現場における合理化要求の高まりなど、需要構造が大きく変化し、ロボットを中心とした自動化、システム化のニーズが一段と高まることが予想されます。

当社グループといたしましては、この構造変化をチャンスととらえ、拡大が期

待できるロボット事業に軸足を置き、「ロボットを核にした総合機械メーカー」として、販売・サービス、製造・調達、研究開発の各面で体質改善を推し進め、商材・商品のラインナップの拡大、新しいビジネスチャンスの創出、抜本的なコスト改革にとり組み、長期ビジョンの実現を目指して、業績の一層の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

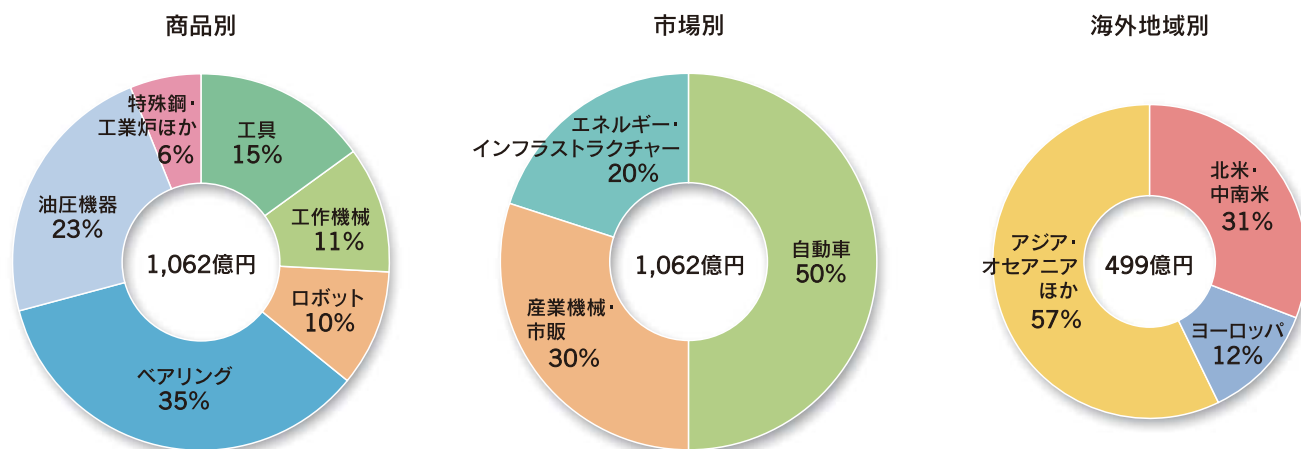


2016年8月
代表取締役社長

本間 博夫

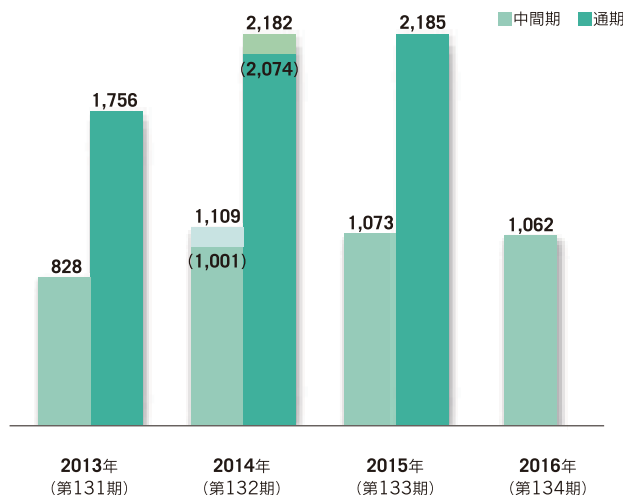
業績の概要(2016年中間期)

売上高の構成

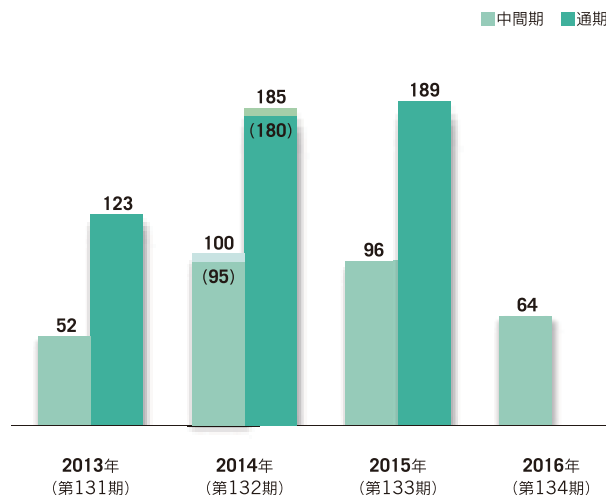


業績の推移

売上高 (億円)



営業利益 (億円)



※ 2014年の()の金額は、海外子会社の決算期変更による影響(2013年10月及び11月の2ヶ月間)を除いた実績を記載しております。

「ロボットを核にした総合機械メーカー」へ

自動車分野での脱エンジン化の流れ、世界的な少子高齢化を背景としたものづくりの現場での人手不足など、当社を取り巻く中長期的な需要構造の変化を見据え、今後、需要拡大が見込まれるロボット事業をコアとした総合機械メーカーを目指します。

○ 商材の拡充



ウイングスライサー型ロボット「EZシリーズ」

小型ロボットのラインナップ拡充

自動化ニーズの高まる電機・電子分野をターゲットにウイングスライサー型ロボット「EZシリーズ」を市場投入。当社独自の第一軸上下構造や、6軸モデルの採用などにより、省スペース、超高速動作、デッドスペースの最小化を実現。

幅広いシステム設計の提供

EZシリーズとMZシリーズの組み合わせにより、更に幅広いシステム設計が可能。機械加工や搬送、組立工程において、よりコンパクトで高速なロボット・ソリューションを提供します。

世界最速・軽量コンパクトロボット
「MZシリーズ」



○ システム対応力の強化



「富山本社・ロボットFA展示場」

ロボットFA展示場の新設

お客様の自動化ニーズに対するソリューション提案の場として、富山本社工場内にロボットFA展示場をオープンしました。



様々な業種でのシステム事例を多数展示したショールームと、自動化構想を具体化するデモ・テストエリア、そして、ロボットスクール機能を併せ持ちます。

○ ロボットテクニカルセンターの世界展開

ロボットFA展示場のコンセプトをもとに、中国・北米・欧州・ASEANの世界10拠点にロボットテクニカルセンターを新設します。現地需要に対応したシステム事例を取り揃え、お客様の自動化ニーズに応じてまいります。

中国の深耕

ロボットの最大需要地である中国に3拠点(上海・青島・広州)、EMSメーカー本社が集積している台湾に1拠点(台北)、ロボットテクニカルセンターを新設し、旺盛な需要をとり込みます。

■ 拡販体制の強化

営業員・営業拠点の増強と、現地生産体制の拡充で、中国国内での地産地消をより一層強化してまいります。



那智不二越(江蘇)精密機械有限公司

(青島)

(上海)

(広州)

(台北)

■ 中国最大の展示場「国家会展中心」に上海テクニカルセンターをオープンへ



上海テクニカルセンターのイメージ

2016年11月に、富山本社のロボットFA展示場の約2倍の規模を誇る上海テクニカルセンターを新設します。高まる自動化ニーズをとり込んでまいります。

青島テクニカルセンター開所式を開催(2016年4月15日)



開所式には、青島市政府をはじめとした関係者など100名以上が出席、多彩なシステム事例を見学・体感されました。

財務諸表の要旨

中間連結貸借対照表

(単位 百万円)

科目	当中間期 (2016年5月31日現在)	前期 (2015年11月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	124,052	126,695
現金及び預金	23,944	22,116
受取手形及び売掛金	47,012	48,584
たな卸資産	44,095	45,879
その他	9,000	10,114
固定資産	142,925	141,416
有形固定資産	108,901	103,606
建物及び構築物	30,528	29,017
機械装置及び運搬具	60,400	54,255
その他	17,972	20,332
無形固定資産	1,218	1,051
投資その他の資産	32,805	36,758
資産合計	266,978	268,112

科目	当中間期 (2016年5月31日現在)	前期 (2015年11月30日現在)
(負債の部)		
流動負債	100,719	98,407
支払手形及び買掛金	40,251	41,988
社債及び短期借入金	43,347	37,827
その他	17,120	18,591
固定負債	63,528	60,398
長期借入金	38,636	35,026
退職給付に係る負債	10,776	11,006
その他	14,115	14,365
負債合計	164,247	158,805
(純資産の部)		
株主資本	94,649	93,911
資本金	16,074	16,074
資本剰余金	11,650	11,650
利益剰余金	67,338	67,118
自己株式	△ 414	△ 932
その他の包括利益累計額	1,686	8,641
少数株主持分	6,394	6,752
純資産合計	102,730	109,306
負債及び純資産合計	266,978	268,112

中間連結損益計算書

(単位 百万円)

科目	当中間期 (2015年12月1日から 2016年5月31日まで)	前中間期 (2014年12月1日から 2015年5月31日まで)
売上高	106,201	107,357
営業利益	6,445	9,683
経常利益	4,358	9,010
特別利益	273	12
特別損失	171	20
税金等調整前中間純利益	4,460	9,002
中間純利益	2,705	5,700

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

科目	当中間期 (2015年12月1日から 2016年5月31日まで)	前中間期 (2014年12月1日から 2015年5月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,204	7,233
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 12,804	△ 10,112
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,508	4,452
現金及び現金同等物の増減額	1,991	1,540
現金及び現金同等物の期首残高	21,487	23,469
現金及び現金同等物の中間期末残高	23,479	25,010

株式の状況 (2016年5月31日現在)

発行済株式の総数 249,193,436株

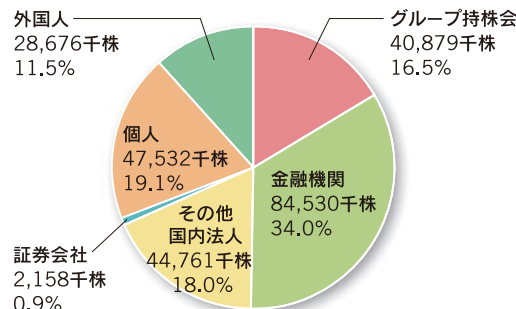
株主数 24,953名

大株主(上位5名)

(注)持株比率は自己株式(654千株)を控除して計算しています。

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
那智わねい持株会	20,189	8.12
ナチ不二越従業員持株会	13,475	5.42
トヨタ自動車株式会社	13,182	5.30
株式会社三菱東京UFJ銀行	11,888	4.78
株式会社北陸銀行	8,659	3.48

所有者別株式分布



取締役ならびに監査役 (2016年8月現在)

代表取締役社長	本間博夫	取締役	井上徹	取締役	国崎晃寛
常務取締役	薄田賢二	取締役	古澤哲	常勤監査役	山田将志
常務取締役	堀功	取締役	保里忠孝	常勤監査役	堀山将昌*
常務取締役	林秀憲	取締役	浦田信一	常勤監査役	山崎福一*
常務取締役	小林昌行	取締役	塚本裕寿	監査役	福島栄一*
取締役	塚原一男*	取締役	赤川正寿		

*印は、それぞれ社外取締役、社外監査役です。

執行役員 (2016年8月現在)

執行役員	原英明	執行役員	越濱哲夫	執行役員	庄司幸広	執行役員	花戸宏之
執行役員	藤樫茂	執行役員	黒澤勉	執行役員	延谷良平	執行役員	牛丸裕之
執行役員	野村勇三郎	執行役員	三浦昇	執行役員	佐々木法嗣	執行役員	小野田哲之
執行役員	濱本智	執行役員	渡辺孝一	執行役員	坂本淳		

会社の概要 (2016年5月31日現在)

設立	1928年12月21日	資本金	160億円	従業員数	2,958名(グループ人員6,794名)
主要な事業内容	機械工具事業 切削工具、塑性加工工具、切断工具、工作機械、機械加工システム、ロボット、ロボットシステム 部品事業 ベアリング、油圧機器、カーハイドロリクス、免震システム その他の事業 特殊鋼、コーティング、工業炉				
主な国内事業所	富山本社 富山市不二越本町1-1-1 〒930-8511 Tel. 076-423-5111 東京本社 東京都港区東新橋1-9-2 汐留住友ビル17F 〒105-0021 Tel. 03-5568-5111 東日本支社 東京都港区東新橋1-9-2 汐留住友ビル17F 〒105-0021 中日本支社 名古屋市名東区高社2-120-3 ナチ名古屋ビル 〒465-0095 西日本支社 大阪市北区中之島3-2-18 住友中之島ビル5F 〒530-0005 富山事業所 富山市不二越本町1-1-1 〒930-8511 [工具 工作機械 ベアリング ロボット] 東富山事業所 富山市米田町3-1-1 〒931-8511 [特殊鋼] / 富山市中田3-2-1 〒931-8453 [油圧機器] 滑川事業所 富山県滑川市大掛176 〒936-0802 [油圧機器 カーハイドロリクス コーティング 工業炉]				
主な海外事業所	NACHI AMERICA INC.(アメリカ) NACHI EUROPE GmbH(ドイツ) 那智不二越(上海)貿易有限公司(中国) 那智不二越(江蘇)精密機械有限公司(中国) NACHI SINGAPORE PTE. LTD.(シンガポール) NACHI TECHNOLOGY(THAILAND) CO., LTD.(タイ)				

株主メモ

証券コード	6474
事業年度	12月1日から翌年11月30日まで
定時株主総会	2月
基準日	定時株主総会・期末配当 11月30日 中間配当 5月31日
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人 特別口座管理機関	〒100-8233 東京都千代田区丸の内1-4-1 三井住友信託銀行株式会社
同連絡先 郵便物送付先 お問い合わせ窓口	〒168-0063 東京都杉並区和泉2-8-4 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)
ホームページアドレス	http://www.nachi-fujikoshi.co.jp/

■配当金の「口座振込」について

配当金のお受け取りには、安全・確実・便利な「口座振込」をおすすめします。

口座振込のお受け取りは、つぎの3つからお選びいただけます。

株式数比例配分方式 お取引の証券会社の証券口座で、お受け取りいただく方式(証券会社に口座がない株主様は、ご利用いただけません)

登録配当金受領口座方式 ご所有の全銘柄を、1つの銀行等の預金口座で一括して、お受け取りいただく方式(ゆうちょ銀行の口座は、ご指定いただけません)

個別銘柄指定方式 ご所有の銘柄ごとに、銀行等の預金口座を指定し、お受け取りいただく方式

■株式に関するお手続きについて

1. 配当金受取方法のご指定、単元未満株式の買増・買取、住所氏名等のご変更、株式の口座振替申請のお申し出先について

株主様のお取引のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座を開設されていない株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

2. 未払い配当金のお支払い、その他株式事務に関する一般的なお問い合わせ

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

表紙の写真

表紙は、ウィングスライサー型ロボットの「EZ02」です。

当社独自機構の採用で、省スペース、超高速動作、デッドスペースの最小化を実現。生産現場の省スペース化と生産性の向上に貢献します。